

あいっこ「親の学び」 学習プログラム

<平成27年度 追加版>

- 6 幼児期（3歳～5歳）の子どもの保護者を対象

生活も遊びも 子どもと一緒に楽しもう！

テーマ：家族（ 家族のふれあいや心のつながり 兄弟姉妹の関係 ）



親子で過ごしている場面でのエピソードをもとに、どうしたら親も子も楽しい気持ちになれるか、兄弟姉妹が笑顔ですごせるかを考えてみませんか？

II-6

生活も遊びも 子どもと一緒に楽しもう！

<エピソード 1>

4歳の誕生日を迎えたあゆむくん。あゆむくんは、共働きのお父さんとお母さんと暮らしています。今日は、日曜日。お母さんは、夕食の準備を始めました。あゆむくんは、おもちゃをたくさん出したままでお父さんとテレビを見ています。

お母さんが「あゆむくん！片付けてからテレビを見るって何度言ったらわかるの？」と強い口調で言いますが、お父さんもあゆむくんもテレビに夢中。

お母さんは、「もう！！片付けないと夕ご飯なしだよ！！！」と大きな声を出してしまいました。



Work

お母さん、お父さん、

それぞれの気持ちを考えてみましょう。

お母さん

お父さん

Work

あゆむくんの家族が、楽しく夕食を食べるには、

どうしたらいいでしょうか。



<エピソード 2>

5歳のあけみちゃんは、妹のゆみちゃんと遊ぶことが大好きです。今日、二人でお絵描きをしています。お母さんが、二人の様子を見ていると、最初は妹のゆみちゃんも自分の紙に好きな絵を描いていましたが、あけみちゃんが描いているお姫様の絵がほしくなり「ちょうだい、ちょうだい・・・」とせがんでいます。

すぐに絵をもらえないゆみちゃんは、あけみちゃんの描きかけの絵に自分も描こうとし始めました。



Work

あなただったら、あけみちゃんにどのように声をかけますか。

Work

あなただったら、ゆみちゃんにどのように声をかけますか。

資料

「心と体のリズム」を共有すると生活も遊びも楽しい！

「ノリが合う」「ノリが違う」…など、私たちは日常的にこの「ノリ」というリズムの中で生活しています。並んでキッチンに立ち一緒に料理をすること、同じ道具を持ち一緒に作業をすること…ここには全て「ノリ」が存在し、「ノリ」が合っていれば、心地よい雰囲気や状況が作られていくのです。子どもを含め他者と「ノリ」が合いやすくなる秘訣は、はじめはゆっくり、大きく“オノマトペ（擬声語・擬態語）”を声や行動に現わすことです。

例えば…

<並んでキッチンに立ち一緒に料理をする場面>

混ぜる動作→「まぜ、まぜ、まぜ」「ぐる、ぐる、ぐる」「シャカ、シャカ、シャカ」

切る動作→「トン、トン、トン」「シャツ、シャツ、シャツ」「びりびりびり」

<同じ道具を持ち一緒に作業をする場面>

物を引っ張る時→「うんとこしょ、どっこいしょ」「よいしょ、よいしょ」

◎子どもと一緒に声を出しながら、リズムに乗って作業したり遊んだりすることで気持ちが通じ合い、身体も心も躍るような楽しい気分で生活できます。



※「ノリ」とは、岩田遵子氏が規定した概念です。

保育実践における子どもの主体的な遊びを保障するリズム・気分を指します。

<参考文献>吉田龍宏・渡辺桜(2014)「遊び保育のための実践ワーク」萌文書林

幼児（3歳～5歳）の子どもを持つ保護者を対象

Ⅱ－6 生活も遊びも 子どもと一緒に楽しもう！

<プログラムのねらい>

- ・家族の様子を具体的に思い出すことで、家族のふれあいの場を積極的に持とうとする気持ちを高める。
- ・子どもの持ち味を子ども自身に実感させることができるような関わり方や言葉がけを考えたり、日常生活を振り返り親自身の自尊感情を高めたりする。

時 間	進 む 方	準 備
10分	<p>アイスブレイキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間で交流する遊びを行ない、参加者のリラックスした雰囲気づくりをする。 (4～5人のグループをつくる) ・他者の意見を否定しない、秘密は守るなど、グループのルールの確認と本日の活動の目的を明確にする。 	<p>H22年度版学習プログラムの2目次P2「アイスブレイキング各種」参照資料『心と体のリズム』を共有すると生活も遊びも楽しい！」を説明してもよい。</p> <p>エピソードメモ用紙配布</p> <p>ホワイトボードや大きな紙に、発表された意見を並べ、様々な考え方を共有する。</p> <p>オノマトペとは、擬音語や擬態語の意味であることを伝える。</p>
35分	<p>Work</p> <p>エピソード1を読み、家族それぞれの気持ちを想像しながら、どうしたら家族みんなが心地よく過ごせるかを各自で考えた後で、グループで思いを伝え合う。</p> <p>【ポイント】</p> <p>日常生活において、お父さんやお母さんのがんばりを互いに認め合うことの大切さや、「どっこいしょ」「せーの」など、家族で気持ちを合わせて、一緒に活動する楽しさが味わえるかけ声の有効性を確認したい。</p> <p>エピソード2を読み、ワーク 姉への言葉がけ、妹への言葉がけを通して、兄弟姉妹の関わり合いに配慮しながら、言葉がけをする難しさ良さを実験する。</p> <p>【ポイント】</p> <p>「すごいね」「上手だね」といった抽象的な言葉だけでなく、「どこが一番気に入っているの？」などと、興味を持って相手に話しかけ、さらに、姉妹が楽しくお絵かきができるよう「オノマトペ」を使った声かけなどを母親がすることの大切さに気付かせたい。</p>	
15分	<p>グループ発表、まとめ、振り返りシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループで出たアイデアについて全体で発表・紹介し、話し合う。 ・全体を通して、気付いたこと、今後やってみたいことを振り返りシートに記入する。 	